

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

SUSTAINABILITY REPORT 2018



株式会社ヤマヲが貢献を目指すSDGs

株式会社ヤマヲが貢献を目指すSDGs



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です



ISO22000/FSSC22000/JFS-C



株式会社 ヤマヲ

SDGsに対しての株式会社ヤマヲのアプローチ

2 飢餓を
ゼロに



12 つくる責任
つかう責任



Goal 2 飢餓をゼロに
Goal 12 つくる責任 つかう責任

ターゲット: 2.1 2030年までに、飢餓を撲滅し、すべての人々、特に貧困層および幼児を含む脆弱な立場にある人々が一年中安全かつ栄養のある食糧を十分得られるようにする。

12.3 2030年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食品廃棄物を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品の損失を減少させる。

社内目標 (Goal2) 2020年 製造ロス率、終売ロス率に関して、部門毎の目標数値の達成

2030年 製造ロス、終売ロスを0にする製造管理システムが確立された会社

社内目標 (Goal12) 2020年 製造によって発生するゴミ(書類、廃棄作業着等)の再利用工程の確立

2030年 製造に使用する資材全てが廃棄される事無く、循環する仕組みの会社

【2018年度活動実績】

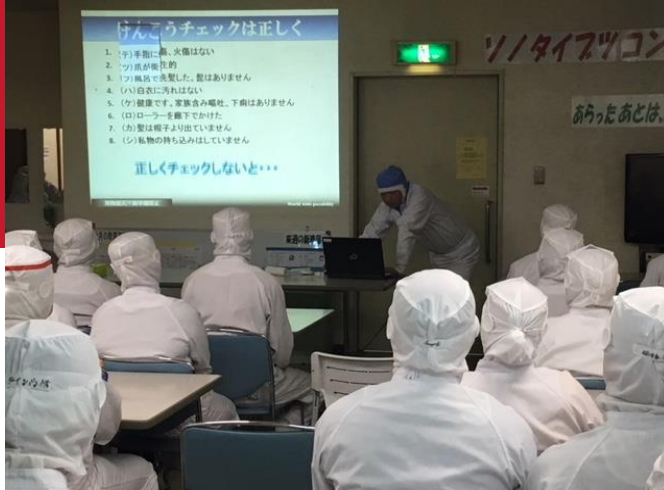
- ・製造による廃棄等のロス率や、終売で使用しなくなる食材等のロス率に関する目標を各部署が設定し、多くの部署が達成しました。昨今、催事商品の大量廃棄や、各飲食店のプラスチック容器の廃止等、廃棄に関する問題は大きく取り上げられています。弊社でも、開発段階での廃棄削減への取り組みと、製造現場での廃棄削減の取り組みの両面を行っていきます。
- ・新商品開始2週間前の製造・開発チームによるレビューを実施継続しました。あらかじめロスの発生しやすい食材を特定し、初日製造の後に再度レビューを行いました。仕入れ担当と情報共有する事で、ロスを最低限にする仕組みを確立しました。

【2020年度目標達成に向けて】

- ・包材容器統一によるプラスチック容器廃棄を削減する。
- ・日々の書類削減による紙ゴミを削減する 等。

SDGsに対しての株式会社ヤマヲのアプローチ

4 質の高い教育を
みんなに



Goal 4 質の高い教育をみんなに

ターゲット: 4.4 2030年までに、技術的・職業的スキルなど、雇用、ディーセント・ワークおよび起業に必要な技能を備えた若者と成人の割合を大幅に増加させる。

社内目標 (Goal4) 2020年 外部研修参加による質の高い教育の構築

2030年 教育を受けた人が、全て教員になれる仕組みが確立された会社

【2018年度活動実績】

- ・基本的な衛生知識を学習する「衛生講習会」を98回実施し、合計472名が受講しました。
- ・入社後、一定期間を経過した勤務者を対象とした「新人フォローアップ研修」を13回実施し、合計167名が受講しました。
- ・食品の安全性を高める為、専門的な知識・ルールを取得する「ステップアップ研修」を5回実施し、306名が受講しました。
- ・工場内全部署に「教育コーナー」を新たに設置しました。各部署毎の専門的な知識・注意点・重大事故事例を現場で直接学習する事により、OJTを強化しました。外国籍従業員の増加により、日本語での教育では効果が得られない場面もあります。各国の通訳配備による、教育の更なる強化を目指していきます。

【2020年度目標達成に向けて】

- ・在籍外国人の全国籍の通訳を配備する。
- ・外部研修を利用し、教員のスキルアップを図る 等。

SDGsに対しての株式会社ヤマヲのアプローチ

5 ジェンダー平等を
実現しよう



8 働きがいも
経済成長も




Goal 5 ジェンダー平等を実現しよう
Goal 8 働きがいも 経済成長も

ターゲット: 5.1 あらゆる場所におけるすべての女性および女子に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。

8.5 2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性および女性の、完全かつ生産的な雇用およびディーセント・ワーク、ならびに同一労働同一賃金を達成する。

社内目標 (Goal5)	2020年 女性外国人実習生の雇用 2030年 出産等、女性の長期休暇から復帰しやすい環境制度が確立された会社
社内目標 (Goal8)	2020年 年齢・性別・国籍・障害の有無に関わらず、その個人の能力が発揮できる職場環境の構築 2030年 年齢・性別・国籍・障害の有無に関わらず、その個人の能力に応じたキャリアアップができる会社

【2018年度活動実績】

- ・新たに女性社員有志を中心とした「Women smiles Project」をスタートしました。女性従業員の快適な職場環境作りをテーマに活動を開始。最初の活動として、女性従業員を対象にアンケートを実施しました。現在の満足度と要望を調査し、その中から、特に要望の多かった、トイレ便座クリーナーを新設しました。今後も、女性が気持ちよく働ける環境・制度作りをテーマに活動していきます。
- ・従業員のキャリアアップとして、パート・アルバイト従業員から、新たに4名を正社員・契約社員として登用しました。日頃の勤務への取り組みを評価し、社員面接を経て、登用されました。中には外国籍従業員もおり、その方々には語学力を生かして通訳も務めていただきます。各々のスキルを活かして、個々人のキャリアアップと、会社への貢献を期待します。

【2020年度目標達成に向けて】

- ・「Women smiles Project」活動を通して、働きやすい職場環境を整える。
- ・各人の特徴を活かした組織作りをし、また、それに伴うキャリアアップ制度を構築する。

SDGsに対しての株式会社ヤマヲのアプローチ

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



©2017Ecoutezbien

Goal 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

ターゲット: 7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。

社内目標 (Goal7) 2020年 不在時の電気・エアコンOFFを始めとした、従業員全体の節電意識向上

2030年 電気・水道・ガスのロスに0にする仕組みが確立された会社

【2018年度活動実績】

- ・エネルギー削減に関する目標を各部署が設定し、多くの部署が達成しました。各部署毎にエネルギーの無駄削減に取り組んでいます。課題として多く挙げられたのは、繁忙期である夏場、業務が忙しい時期の機械稼働についてでした。また、あまり人がいない時間帯の電気消灯についても多く課題に挙げられました。会社全体の意識向上の為、日頃からの情報共有・意識共有を図っていきます。
- ・会社内の照明を蛍光灯からLED照明へ変更しました。昼勤夕勤夜勤と行っている関係から、照明の変更は大きな効果となります。
- ・電力デマンド監視を実行し、見える化を行いました。デマンドを抑える事で使用電力量の削減しました。データ化により、削減ポイントの発見にも繋がっています。

【2020年度目標達成に向けて】

- ・会社内全照明をLEDに切り替える。
- ・会社内研修にエネルギーに関する教育を取入れる 等。

SDGsに対しての株式会社ヤマヲのアプローチ

【2018年度活動実績】



Goal 10 人や国の不平等をなくそう

ターゲット： 10.2 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、すべての人々のエンパワーメント、および社会的、経済的、および政治的な包含を促進する。

社内目標 (Goal10) 2020年 外国籍従業員の教育内容整備

2030年 国籍関係無く十分な職業教育が受けられ、活躍できる会社

- ・2019年6月現在、15の国籍の従業員が同じ会社で勤務しています。新たに外国人社員を4名採用しました。通訳を交えながら教育・情報共有をしていき、外国籍従業員が安心して働ける職場環境を整備しました。
- ・新たに外国人技能実習生を10名受入れしました。前年と合わせて18名が在籍しています。無事故無違反を前提に、会社全体が外国人技能実習制度の目的を理解し、彼ら彼女らの生活・仕事・技能実習の充実をサポートしています。
- ・在留資格「特定技能」ビザに関する説明会・サポート体制を開始しました。入管法及び法務省設置法改正により、在留資格「特定技能」ビザが創設され、大きく注目されています。弊社でも説明会を実施し、ビザの概要と、今後の方針を希望者へ説明しました。また、弊社への就業を希望しない方に対しても、本人の将来設計を聞きながら、ビザ取得をサポートしていく体制を開始しました。

【2020年度目標達成に向けて】

- ・登録支援機関の認証を取得する。
- ・外国人技能実習生受け入れの優良企業を取得する。